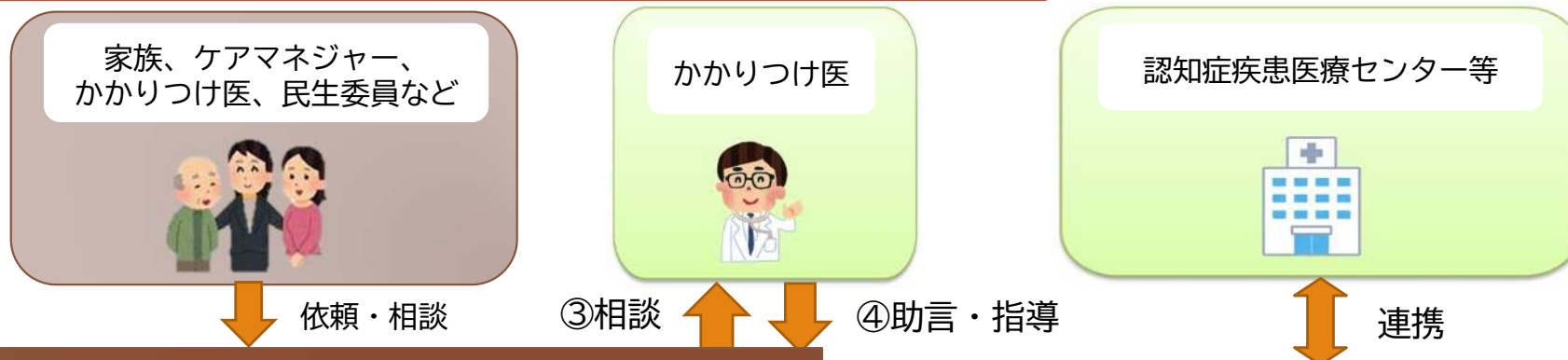


# 令和7年度 認知症初期集中支援チームの活動報告

資料3-2

## 認知症地域支援推進・認知症初期集中支援チーム（H28～）の活動の流れ



## 高齢者生活支援センター（認知症相談センター）

### 認知症 地域支援推進員

認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行ったり、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関との連携を図るなどを行っています。



### 認知症初期集中支援チーム

#### ①初回訪問

- ・ 認知症程度の確認
- ・ 身体状況の確認
- ・ 認知症に関する情報提供など



#### ②チーム員会議

- ・ 支援の方向性を検討



#### ⑤支援の実施

- ・ 生活指導・介護指導
- ・ 受診勧奨
- ・ 介護サービス利用の勧奨
- ・ かかりつけ医との連携など

#### ⑥チーム員会議

- ・ 初期集中支援終了の判断

#### ⑦ケアマネジャーなどへの引き継ぎ

# 対応実績

※令和8年2月時点

| 年度 | 対応実人数                   | 訪問延べ回数 | 介入前         |            |            | 介入後         |            |             |
|----|-------------------------|--------|-------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|
|    |                         |        | 医療・介護<br>なし | 医療のみ<br>なし | 介護のみ<br>なし | 医療・介護<br>あり | 医療のみ<br>あり | 医療・介護<br>なし |
| R6 | 4人<br>※うち1人は<br>R5継続ケース | 62回    | 4人          | 0人         | 0人         | 3人          | 1人         | 0人          |
| R7 | 2人                      | 2回     | 1人          | 0人         | 1人         | 1人          | 1人         | 0人          |

# 令和7年度の取組

## ◆ 事業の効果的な活用に向けた検討

- ・ 高齢者生活支援センターに事業の運用状況やより効果的な活用に向けた改善点等についてアンケート・ヒアリングを実施
  - ➡様式の簡素化、市民への周知方法の検討
- ・ 潜在化している可能性のあるニーズの把握と、事業利用へつなぐルートの検討

## ◆ 対応困難ケースへの対応力向上

- ・ チーム員として認知症認定看護師（芦屋病院所属）が参画
- ・ 事例検討会の実施（各高齢者生活センターごとに計5回実施）（継続）
  - ➡助言者：認知症疾患医療センター（兵庫医科大学病院）（3回）、精神科医（2回）
  - 認知症が関連する困難ケースの対応について医師や相談員より助言があり、対応の工夫や方針について検討するとともに、センターとの顔の見える関係性づくりにつながった。